

## 地元活性化探究プロジェクト

～Explore our local community and ourselves～

さて今回は、昨年度3月に卒業した先輩や、現2、3年生がどのような探究活動を行ってきたかを紹介します。

### (1) 付知 Lovers

信頼できる地域人材(付知GINZA会)と協同してのプロジェクト。付知GINZA会のメンバーや大正大学(中津川市域学連携)の学生たちと定期的にミーティングを行ったり、地元企業と交渉、共同し、新商品(木工品・栗きんとんパフェ)を開発、付知GINZA マルシェにて店舗設営・販売した。



域学連携事業で中津川で実習している大学生とミーティング

付知GINZA マルシェにて

### (2) 中津川中山道中津川宿紹介し隊

中津川宿や中山道の歴史や文化などの調査を開始。外国人観光客が中津川駅で降車後、すぐに馬籠方面へ向かっていることに気づいた。降車後の人の流れをつくり出し、中津川宿に活気を取り戻したいと考えた。街歩きや地域での活動で気づいたことなどをSNSを用い発信した。



初回ミーティングには、中山道中津川歴史資料館の安藤館長をお招きし、中津川宿の知られざる魅力について教えていただき...

毎月開催される六斎市では、歴史資料館でスタンプラリーのお手伝いを経験しました。



### (3) 教育未来塾

中津川の次世代の教育を担っていく生徒達に、中津川・東濃の教育に関心をもってもらうきっかけを作った。第1回目は「教職に就くには」というテーマで講義をうけたり、現役教員と語りながら、実際に授業を組み立てたりした。2回目は、「養護教諭の仕事」というテーマで講義を受け、現役教員と「生徒と関わるコツ」などについて意見交流などを行った。教育未来塾を受講した生徒は、地域や自分の現状を見つめ直し、学習ボランティアや児童館・学童ボランティアなどに参加。今年度も実施予定。将来小、中、高校の先生志望の生徒はもちろんのこと、幼稚園教諭、養護教諭、栄養教諭などを目指す人も大歓迎です。ぜひ参加しませんか。



講義「教職のやりがい・恵那地区の教育課題と可能性」というタイトルで中津川市立第一中学校長 岩久義和先生（当時）よりお話しいただきました。



「プログラミング教育」を ODEKO 原房枝様より、実践を交えて教えていただきました。

講義「教職に就くには」というタイトルで中津川市教育委員会 小木曾敏樹先生（当時）にお話しいただきました。将来教職希望の生徒たちが小木曾先生の話真剣に聞く様子が伝わってきます。



自分たちで実際の授業プランを考え実践しました。



対談「養護教諭の仕事」では、本校の土本養護教諭も参加し、活発な意見のやり取りも行われました。



#### (4) 地域防災探究（東海防災塾）

昨年度はバレー部女子の大量入塾もあり、非常に大人数で防災塾を行いました。六斎市でのボランティア、加藤塾頭の講義やワークショップが月1回程度の頻度であることに加え、生徒達は10月ごろから中津川市の防災リーダー養成塾に参加し、防災士の資格を取ります。本校OBの元塾生が講師として活躍してくれました。その他、校内で行われた「命を守る訓練」でも、自分たちのアイデアを訓練内容に取り入れ、より実践的な訓練を実施することができました。



六斎市での活動の様子



#### (5) 放課後キャリアカフェ

社会や地域で活躍する社会人を講師としてお招きし、様々な分野の話を伺うことで、将来の職業観を養うことを目的に開催。今年度は昨年度以上に多岐にわたり活躍する社会人を呼び込みます♪  
皆さんから回答いただいたアンケートから特に要望の高かった講師人材は「企業した人」「英語を使って仕事をしている人」「教育現場の人」「公務員」etc…です。

ちょっと変わった中津高OBが語る  
「中津川の歴史とこれからの時代をどう生きるか」というテーマでお話しただきました。



#### (6) そのほか、中津川市役所定住推進課とのコラボレーション企画

- ・加子母木匠塾
- ・放課後ニューストーク
- ・学生企画プロジェクトチーム「やろまい課」
- ・市役所職員若手職員とのゆるーい交流会
- ・身の回りの国際化から考える
- ・こんな図書館になったらいいな
- ・コーヒーづくり体験
- ・なぜ地域活動をする必要があるのか

など、多様なイベントに多くの生徒が参加しました。今年度も多くのイベントが企画・開催されると思います。みなさんの探究学習の一助として、このようなイベントにぜひ積極的に参加しませんか♪